



TITLE:

支那ノ幣制改革問題

AUTHOR(S):

河田, 嗣郎

---

CITATION:

河田, 嗣郎. 支那ノ幣制改革問題. 經濟論叢 1918, 7(5): 684-706

ISSUE DATE:

1918-11-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127451>

RIGHT:

## 支那ノ幣制改革問題

河 田 嗣 郎

### (一)

支那ノ幣制改革問題ニ就キテハ從來廣ク研究ノ行ハレ、近クハ又其ノ實行ノ時期及ビ方法等ニ關シテ、屢種々ノ意見ノ公ニセラレタルヲ見ル。

從來支那ノ幣制ノ夥シク紊亂シ、現今ニ至ルモ却ツテ其ノ混亂ノ狀況ヲコン増セ、未ダ毫毛統一の整理ノ行ハルルナク、一國內ニ共通ナル貨幣制度ノ存セスシテ、各地方々々ニ於テ幾種幾十種ノ貨幣ノ混然トシテ並ビ行ハレ、從テ其等ノ貨幣ハ事實上ニ於テハ貨幣タル本性ヲ十分ニ具有スルヲ得ズ、一種ノ貨物トシテ賣買取引セラルルノ狀態ニ在ルコトハ人ノ好ク知ル事實デアル。而シテ之ガ爲メニ國內ニ於ケル交易取引ニ謂フ可ラザル不便ノ存シ、又特ニハ海外貿易上ノ取引ニ於テ大イナル不都合ノ存スルコトハ、既ニ幾度カ繰返シテ多數ノ學者ニ依リテ論示セラレ、又實際家ノ局ニ當リテ迷惑ヲ感ズル所デアル。洵ニ現今ノ狀況ニ於テハ奉天省一省内ニ於テ行ハレツツアル諸種ノ貨幣ノミニラモ、之ヲ一ツ宛見本トシテ集ムルニ其ノ額面價合計千五百圓ヲ要ストセラルル有様デアル。斯カル混亂狀態ガ國內外ニ於ケル交易取引ヲ如何バカリ困難ナラシメ無秩序ナラシメ不安ナラシメツツアルカハ、今又重ネテ之ヲ論示スル迄モナクシテ明カデアル。生レ落ツルトヨリシテ其ノ狀態ニ慣レタル支那人自身ハ多ク其ノ不便ヲ感知セズ、多種貨幣ノ並ビ行ハ

レ其ノ相互間ニ日々相場ノ變動アルガ爲メニ其間ニ處シテ貨幣其物ノ賣買取引ヲスル業務ノ發達シ、所謂錢鈔取引ハ支那ニ於ケル頗ル興味アル一ノ商業トシテ支那人ノ間ニハ却ツテ此ノ混亂狀態ヲ有利ナリトモ信ゼラレツツアル次第デアルガ、現時ノ發達セル世界經濟ノ中ニ交リテ支那ガ斯カル幼稚ノ狀態ヲ有スルコトガ、直接ニ間接ニ支那ノ經濟發達ノ上ニ如何ニ大イナル妨害ヲ爲シツツアルカハ、計リ知リ難キホドデアル。

サレバ今、支那ノ幣制ヲ改革シ、國內單一ノ幣制ヲ布キ、國內ニ共通ナル價格單位ノ行ハルルニ至リ、有効ナル組織ト管理トノ下ニ、整頓セル然カモ亦信用確實ナル貨幣制度ノ行ハルルニ至ラムコトノ是非トモ必要ナリトセラルル一事ニ至リテハ最早議論ナキ所デアル。即チ支那幣制改革ノ必要ハ今ヤ確定シタル事柄デ、殘レル問題ハ唯ダ其ノ實行ノ方法及ビ時期ニ關スルモノ之デアル。仍テ吾人ハ此ノ重要ナル二點ニ就キテ少シク見ル所ヲ述ベテ見タイト思フ。

## (二)

支那ニ於ケル幣制改革ノ方法ニ至リテハ固ヨリ一二ニシテ足ラヌデアラウガ、何レニシテモ其ノ新ニ設ケラル可キ制度タルヤ、支那自身ニ取リテモ又支那ト通商取引ヲ行フ外國ニ取リテモ共ニ便利ナルモノテナクテハナラス。從來ノ議論ガ兎角外國人側ノ利便ヲノミ主トシテ考ヘタルモノデアツタリ、又支那側及ビ支那ニ於テ業ヲ營ミツツアル或銀行業者其他ノ事業家ノ利便ヲノミ主トシテ眼中ニ置キタルモノナリシコトハ、議論ノ盛ニ行ハレ、實行方策ノ屢々提案サルルニ拘ラズ、終ニ之レコソト思ハルルモノヲ見ルコトノ少キ所以デアル。而シテ今此ノ兩方面ノ利便ヲ

同様ニ顧慮シテ之ヲ致フルニ於テハ、支那ニ於テ新タニ採用サル可キ貨幣制度ハ、歐米諸國ヤ我國ナドニ於テ之ヲ見ルガ如キ純粹ナル金本位制デモナケレバ、サレバトテ又純然タル銀本位制デモナク、一種ノ金本位制又ハ一種ノ兩本位制ト見ルヲ得可キ彼ノ金爲替本位制デナクテハナラヌ。尤モ現今ノ事情ノ下ニ於テ實行サレ得可キ金爲替本位制ナルモノハ「Gold Standard」氏ナドノ推奨スル制度其儘ノモノタルコトハ出來ヌノデ、差當ツテハ過渡的ニ一種ノ變態的ナル金爲替本位制ヲ建テ、後日時期ヲ見テ本當ノ金爲替本位制ニ入ル可キモノデアル。而シテ吾人ハ之ヲ以テ最モ實行シ易キ然カモ支那側ニモ外國側ニモ共ニ便利ナル方法ナリト信ズル。

金爲替本位制ハ決シテ純粹ナル金本位制デハナイガ、價值測定ノ標準トナル單位ハヤハリ之ヲ或純分ヲ有スル一定分量ノ金ノ價ニ求ムルモノデアルカラ、ソレダケノ意味ニ於テハヤハリ之レ金本位制デアル。而シテ價值測定ノ標準ヲ金ニ求ムル金本位制ガ支那幣制改革ノ終局ノ目的タルコトニ至ツテハ誰シモ殆ンド異存ナキ所デアル。彼ノ銀本位論者ノ如キモ終局ノ問題トシテ支那モ亦金本位制ヲ取ラザル可ラザルコトニ關シテハ固ヨリ異存アルモノニアラズ、唯ダ問題ハ先ヅ銀本位制ヲ以テ支那全國ノ幣制ヲ整ヘ其ノ十分整頓セル曉ニ於テ之ヲ金本位制ニ改ム可シトスルト、直チニ金本位制ヲ布ク可シト爲ストニ存シ、議論ノ岐ルル所ハ此所ニ存スル。

銀本位制ニ依リ支那ノ幣制ヲ改善シ全國統一ノ幣制ヲ布キ國家的ニ整頓セル貨幣制度ヲ樹ツ可シト爲ス論者ハ、先ツ第一ニハ今俄カニ支那ヲ金貨國ト爲サント企ツルトモ之ニ要スル金準備ヲ蓄フルコトノ容易ナラザレバ、先ヅ差當リテハ在來使用シ來レル銀ヲ本トシテ其基礎ノ上ニ新タ

ナル整頓セル幣制ヲ樹ツルヲ以テ實行シ得キ得策ナリト爲シ、從來蓄ヘタル銀ヲ處分シテ新タニ獲ルコトノ困難ナル金ヲ獲テ之ヲ以テ幣制ヲ立ツルノ愚ヲ演ズ可キニアラズト主張シ、次ニハ又元來支那ニ於テハ古クヨリ銀貨ノ行ハレ支那人ハ最も銀貨ニ慣レ、銀ニアラザレバ貨幣ニ非ズト思フホドノ民ナレバ、今俄カニ此ノ混亂セル通貨狀態ノ下ニ於テ金本位制ヲ建ツルトモ、ソハ到底國民一般ノ歡迎スル所トナラズ幣制改革ハ斯クテ終ニ紙上ノ改革タルニ止マル可ケレバ、先ヅ國民一般ノ好ム銀ニ依リテ幣制ヲ整ヘ、國民ガ統一セル國家の幣制ニ慣レタル時期ヲ見テ又更メテ金本位制ニ移ルヲ以テ寧ロ捷徑ト爲スト信ズルノデアル。

之ニ對シテ金本位制ヲ主張スル論者ハ、從來諸種ノ貨幣ハ之レアレドモ國家的ニ統一サレタル貨幣制度ハ支那ニハ存在セザル次第ナレバ、今國家的ニ幣制ヲ統一スルトスレバ、ソハ何レニシテモ新シキ制度ヲ建ツルモノデアル。サレバ新制度ノ下ニ於ケル新貨幣ガ國民一般ニ歡迎セラレ好ク其ノ流通ヲ見ルヲ得ンコトハ一ニ制度ガ國民ノ信用ヲ博シ新貨幣ガ貨幣トシテ價值アリ便宜アルモノト認メラルルノ事情ニ待タナケレバナラス。而シテソガ價值アルモノトシテ又國內外ニ於ケル取引上ニ使用シテ最も便宜ナルモノト認メラルル點ニ於テハ金貨ハ銀貨ニ優リ決シテ之ニ劣ルモノデハナイ。加之新制度ガ制度トシテ十分有効ニ且ツ整頓セルモノデ國民一般ノ信用ヲ博スルニ足ルモノタル限り、銀ニ依ル統一ノ出來得可クンバ金ニ依ル統一ノ出來ザル筈ハナイト主張スルノデアル。次ニハ金貨國タル可ク支那ガ金準備ヲ蓄フルハ容易ナラズト謂ハルケレドモ、現下ノ時期ハ金準備ヲ調フルニコソ最も都合好ケレ、銀ヲ處分シテ金ヲ蓄フルニハ銀相場ノ法外

ニ高キ現時ホド都合好キ時ハナイ。更ニハ又銀論者ノ主張ノ如ク銀本位制ニヨリ全國共通ノ銀貨ヲ鑄造センニハ第一之ニ必要ナルダケノ銀ガ支那國內ニ存在スルカガ問題ナルガ上ニ、ヨシ其ノ蓄藏量ハ十分ナリトスルモ、今ノ造幣能力ヲ以テシテハ所要ノ新銀貨ヲ鑄造スルダケニ七年位ノ年月ハ必要デアル。此ノ法外ニ高キ銀ヲ以テ今カラ七年モカカリテ之ガ鑄造ヲ終ヘ、其ノ漸ク終リタル頃ニハ銀ノ相場ハ大イニ下落スルヲ避ケ難キニ、又候之ヲ處分シテ更ニ新ニ金本位制ニ革ムルハ、實ニソレコソ愚ノ至リデアル。同ジク新制度ヲ樹ツル程ナラバ、金ヲ得ルニ最モ好都合ナル今日ノ時期ニ思ヒ切りテ直チニ金本位制ヲ樹ツルニ若カズト主張スルノデアル。

此ノ兩者ノ主張ハ何レニモ一理アルノデ何レモ無下ニ之ヲ斥クルコトハ出來ヌ。新制度ガ國民ニ依リテ一般的ニ歡迎セラレ、新貨幣ガ廣ク國民ノ間ニ愛好サレテ無碍ノ流通ヲ見ルヲ得ンガ爲メニハ其ノ貨幣ガ最モ國民ノ使ヒ慣レ十分ニ其ノ價值ヲ認メタルモノナルコトヲ必要トシ、此點ニ關シ支那ニ於テ銀貨ノ排斥ス可カラザルヤ銀本位論者ノ主張スル通りデアル。然ルニ支那ガ今後世界經濟ノ仲間入りヲ爲シ國ノ内外ニ渡ル盛ナル取引ヲ爲スニハ金本位制ヲ有スルコトノ最モ利便多ク、然カモ金本位制ノ基礎ヲ据ユルニハ今日ノ時期ハ最モ乘ズ可キ時期ニシテ、法外ニ高價ナル銀ニ依リテ安キ金ヲ求メ之ヲ蓄積シテ金準備ヲ備フルニ時今ヨリ佳ナルナク、從テ先ヅ銀本位ニヨル幣制ノ統一ヲ行ヒ、然ル後ニ又更ニ金本位制ニ移ルノ得策タラザルヤ、又實ニ金本位論者ノ主張スル通りデアル。

茲ニ於テカ吾人ハ金爲替本位制ト云フ此ノ兩者ノ利點ヲ兼ネ備フル制度ヲバ此際支那ガ採用ス

ルヲ以テ最モ當ヲ得タリトセザルヲ得ナイノデアル。而シテ此際之ヲ採用スルニ就テハ少シク其制ヲ更メ暫ク變態的ノ制度ヲ樹ツ可シトスルノデアル。

### (三)

金爲替本位制ハ金ノ或ル純分ニ於ケル一定分量ヲ以テ價值測定ノ單位ト爲スコトハ金本位制ニ異ルナキモノデアルガ、其ノ本位貨ハ主トシテ國際間ニ於ケル貿易ノ決濟ニ用ヒラル可キモノ即チ外國爲替ノ賣買ニ用ヒラル可キモノデ、國內ニ於テ普通ニ流通スル貨幣トシテハヤハリ銀貨ヲ以テ之ニ當テ一定純分及分量ノ銀貨ヲ以テ同ジク法貨ト爲シ其ノ價格ハ法律ヲ以テ本位貨ニ對スル比價ヲ定メ其ノ法定價ヲ以テ無制限流通ヲ爲サシメントスルモノデアル。

サレバ今支那ニ於テ金爲替本位制ヲ布クコトトナレバ、新タニ一定純分一定分量ノ本位金貨ヲ制定シ之ヲ以テ價值測定ノ單位標準タラシムルト同時ニ、新タニ一定純分及分量ノ銀貨ヲ制定シテ其ガ本位貨ニ對スル比價ヲ規定スルカ、然ラザレバ從來行ハレ居ル銀貨ノ多種類中ノ或物、例ヘバ墨西哥弗ノ如キヲ選ムデ之ヲ銀ノ法貨トナシ、其ガ本位金價ニ對スル比價ヲ法律ニ依リテ規定セナケレバナラヌコトトナル。而シテせんくす氏ナドハ後者ノ方法ヲ採用ヒムコトヲ推奨シタノデアル。

此ノ金爲替本位制ナルモノハ支那ヤ比利賓ヤ其他ノ銀貨國ニ新タニ採用ス可キ金本位制トシテハ最モ妥當ナル實行シ得可キ幣制デアル。即チ此ノ制度ニ依ル時ハ金ヲ以テ本位貨ト爲ス乍ラモ其ハタダ價值測定ノ標準ヲ之ニ求ムルニ過ギズシテ、國內ニ流通スル貨幣トシテハ依然トシテ國

民ノ使用ニ慣レ從テ愛好スル銀貨ヲ存置シ、然カモソガ本位貨ニ對シテ常ニ價格ノ變動ヲ示スノ不便ヲ避クルガ爲メニハ法律ヲ以テ兩者ノ比價ヲ一定シ、以テ銀貨ハ本位貨トシテ價值測定ノ本據タラザレドモ法貨トシテ無制限ニ流通シ強制通用力ヲ有スルモノトセラレ、本位貨タル金貨ハ主トシテ専ラ外國貿易上ノ支拂授受ニ用ヒシメ、以テ金銀比價ノ變動ヨリ來ル輸出入貿易上ノ不安定ヲ失リ又外資輸入ノ障礙ヲ除去スルヲ得ルコトナルノデアル。せんくす氏等ニヨリテ推獎セラレタル此ノ制度ハ未ダ支那ニ於テ採用セラルルニ至ラヌケレドモ、今日ニ於テ最モ實行シ得可クシテ且ツ支那人ニ取リテモ支那ト取引スル諸外國人ニ取リテモ利便多キモノハ此ノ制度タルヲ疑フコトガ出來ヌ。

尤モせんくす氏等ガ此ヲ支那ニ推舉シタル時期ニ於ケルト今日ニ於ケルトハ頗ル事情ノ變化セルモノアリ、特ニ銀價ノ高低著シク相違セルガ爲メニ、今日直チニ其ノ金爲替本位制ナルモノヲ其儘ニ實行スルコトハ出來ヌカラ、之ニ多少ノ手加減ヲ加ヘ制度ヲ緩和スルノ必要ハアルガ、大體ニ於ケル制度其物ノ精神ハ現今ニ於テモ支那ニ取リテ最モ適當ナル制度ト謂ハネバナラス。支那ノ幣制ハ之ニ依リテ改革ス可ク、又之ニ依ル改革ナラバ必ズ實行シ得ラル可キヲ信ズ可キ理由ガアル。

せんくす氏等ガ支那貨幣改革ニ關スル米國ノ調査委員トシテ任命セラレ、支那ニ於ケル實狀ヲ調査攷究シテ其ノ復命書ヲ時ノ大統領領ルゝずぐゑると氏ニ致シ、金爲替本位制ヲ以テ最モ好ク支那ニ適合セル幣制ナリトシテ推獎シタルハ一九〇三、四年ノ頃デアツテ、時恰モ銀貨下落ノ勢ノ最



モ顯著ナリシ時デアツタ。從テ當時ハ支那ヲシテ世界先進國並ミニ金本位制ニ入ラシムルト同時ニ、又其ノ在來使用ニ慣レタル銀貨ヲモ貨幣トシテ失ハシメズ、然カモ銀貨ハ相場頗ル下落セルモノナレバ其ノ下落ヨリ來ル不利及ビ其以上ニ尙ホモ下落スルヨリ來ル不利ハ法律ノ力ニ依リテ之ヲ防止セムトスルコトガ、最モ必要トセラレ、新制度ハ此ノ必要ニ鑑ミテ策定セラレナケレバナラナカツタ。而シテ現下ノ狀態ニ在リテハ支那ガ金本位制ヲ布クノ必要ハ其ノ當時ニ變ル所ナク其ノ必要ハ益々急切ニコソナリ居レ毫モ必要ノ減少シタル事情ハナイ。又支那ガ新幣制ヲ布クニ就ケテハ國內ニ普通ニ行ハル可キ貨幣トシテハ銀貨ヲ以テ法貨タラシメ支那内地ニ於ケル交易取引ハ主トシテ之ヲ以テ行ハシムルヲ便トシ、又然カスルニアラザレバ新幣制ハ容易ニ其ノ實効ヲ擧ゲ難キ點モ、依然トシテ變リナキ所デアル。唯ダ當時ト今日ト頗ル事情ノ異ルハ、今ヤ銀價ガ法外ニ高クシテ洵ニ異常ノ騰貴ヲ示シツツアル點デアル。然カモ此點ハ現今支那ニ金爲替本位制ヲ布ク可シト論ズルニ就ケテハ大イニ顧慮ス可キ點デアツテ、せんくす氏等ノ案ヲ其儘今日ニ行ヒ得可カラザル主ナル事由ハ實ニ此所ニ存スル。

現今支那ニ採用シ得可キ金爲替本位制ハ或種ノ銀貨ヲ以テ法貨ト認メ其ノ無制限通用ヲ爲サシムルヲ必要トスルモ、ソガ本位貨ニ對シテ保ツ可キ比價ヲ定ムルヲ許サナイ。蓋シ現今銀價騰貴ノ勢ハ洵ニ異常ナ狀況デアツテ停止スル所ヲ知ラザル有様デアルケレドモ、之ハ主トシテ歐洲諸國ニ於ケル銀貨鑄造用ノ需要増加ニ歸因スルトスレバ、戰後ニ於テハ必ズヤ大イナル下落ヲ來タシ、平時ニ於ケル需給ノ正常狀態ニ適應スル價格ノ生ジ來ル可キデアツテ、其レ迄ハ銀價ノ動搖

ハ避ケ難キ勢デアルカラ、此ノ動搖セル時期ニ際シテ金銀貨ノ比價ヲ定ムルハ到底妥當ナリトスルコトガ出來ヌカラデアル。誰シモ今ノ時期ガ本位金貨ニ對スル銀貨ノ比價ヲバ法律ニ依リテ一定スルニ適當ナル時期ナリトハ思ヒ得ナイノデアツテ、若シ今日強イテ之ヲ定ムルニ於テハ數年ナラズシテ其ノ法定比價ハ著シク現實ノ市場比價ト懸隔スルニ至リ、其ノ懸隔ノ程度餘リニ大ナルガ爲メニ縱令ヘ法律ノ力ヲ以テスルモ到底貨幣トシテノ圓滿流通ヲ保障シ得可カラズ、金銀貨ノ間ニ實際取引上ニ於テハ大イナル打歩ヲ生ジ、折角整ヘラレタル幣制モ又紊亂スルニ至ルヲ避ケ難イデアラウ。加之現今ノ高キ銀貨ニ對シテ——例ヘバ墨西哥弗貨ノ如キニ對シテ——其ノ一圓（又ハ一元）ヲ標準トシテ其ノ市價ニ鈎合フ程度ノ本位金貨ヲ制定スルトナレバ、其ハ恰モ米國ノ弗程度ノモノトナル次第デ、本位單價ヲ弗程度（我が一圓程度）ニ定ムルコトノ支那ノ經濟狀態ニ對シテ高キニ過グルハ誰ノ目ニモ明カナル所デアル。然ラバ今假リニ我が一圓程度ノ金本位單價ヲ制定スルモノトシテ之ニ對シ墨西古弗ノ如キ銀貨ノ比價ヲ時價相當ニ定ムルトスレバ銀貨ハ正ニ二倍ニ近キ呼値ヲ有スルコトナリ今ノ墨銀一元ハ二元ニ近キモノトナリ、斯クテ支那國內ノ物價ハ一躍倍加スルコトナリ、然カモ其ノ比價ガ法律ノ力ニ依リテ永續的ニ支持セララルニ於テハ其ガ國內ニ於ケル經濟ノ調和ヲ紊スノ大ナルヤ言フ迄モナイガ、今後銀價大イニ下落スルニ於テハ縱令ヘ法律ノ力ヲ以テスルモ今ノ銀貨一弗ヲ何時迄モ二弗トシテ通用サスコトハ不可能トナラザルヲ得ナイ。

何レニシテモ現今ノ時期ハ金銀兩貨幣ノ比價ヲ定メ本位金貨ニ對シテ一定ノ比價ヲ有スル銀貨

ヲ認メ之ヲ法貨ト爲スノ制度ヲ建ツルニハ最モ都合好カラス時期デアル。サレバ吾人ハ此際支那ニ金爲替本位制ヲ布クトシテ暫ク之ヲ一種變態ノモノト爲シ、或種ノ銀貨(墨西哥弗ヲ適當トスルコトハ後ニ述ブルデアラウ)ヲ以テ法貨ト認メ其ノ國內ニ於ケル流通ヲ促進ス可シト爲スニ就キテハ、法律ヲ以テ其ガ本位貨ニ對シテ保ツ可キ比價ヲ定ムルコトナク、兩者ノ比價ハ之ヲ市場ニ於ケル取引相場ニ一任シ、後日銀價下落ノ勢ノ生ジ來リソガ大抵落付ク所ニ落付キ、所謂正常狀態ノ表ハレ來ル時期ヲ待チテ茲ニ甫メテ法律ヲ以テ金銀貨ノ比價ヲ定ム可シト爲ス次第デアル。

#### (四)

右吾人ノ説クガ如ク爲スニ於テハ、新タニ布カル可キ支那ノ幣制ハ暫クノ間ハ未ダ不完全ノモノタルヲ免レ難イ。即チ本位金貨ニ對シテ他ニ法貨タル銀貨ノ認メラレ乍ラ、其ガ本位貨ニ對シテ保ツ可キ價格ノ割合ハ法律ニ依リテハ制定セラレズ、其ノ制定サルル時期ノ到來スル迄ハ當該銀貨ハ法貨トシテ無制限通用ノ行ハレ、交易取引ノ仲介者トシテノ働ハ之ヲ有スレドモ、價値測定ノ本據トハ爲リ得ザルモノデアル。從テ主トシテ此ノ銀貨ヲ以テ取引ヲ行フ支那國內ノ一般物價ハ銀貨ガ本位金貨ニ對シテ有スル相場ノ變動スルニ連レテ動搖スルヲ免レ難ク、取引ノ從テ多少不安ニシテ、物品賣買ガ物品ソレ自身ノ需給關係ヨリ來ル價格ノ變動以外、更ニ金銀比價ノ變動ヨリ來ル動搖ヲ感ゼザルヲ得ザル現今ノ事情ハ、或程度ニ於テ依然持續サルルヲ認メナクテハナラス。

併シ乍ラ金銀比價ノ變動ニ伴フ此ノ困難ノ事情ハ支那人ニ取リテハ大シタ苦痛デハナイ。貨幣

制度ノ整頓セル歐米諸國ヤ我國ニ於ケル取引ニ慣レタル者ニ取リテハ、物品ノ取引ニ於テ物品其レ自身ヨリ來ル價格ノ變動以外ニ、貨幣ト貨幣トノ間ニ於ケル比價ノ變動ヨリ來ル損益ノ伴ヒ生ズルハ洵ニ大イナル苦痛デアツテ、其レガ爲メニ商取引ノ複雑トナリ不安定トナリ意外ノ損失ト意外ノ利得トノ常ニ表ハレ來リテ取引ヲシテ頗ル不健實ノモノタラシメラルルヲ苦痛トスル次第デアル。而シテ此ノ不都合ヲ除キ商取引ヲシテ簡單ニ且ツ健實ナラシメント欲スル事ハ即チ支那ト取引ヲ爲ス外國商人ガ支那ノ幣制改革ト金本位制採用トヲ希望スル理由デアル。然ルニ生レ落ツルトヨリシテ不整頓ナル貨幣制度ノ下ニ育チ、或種貨幣ト他種貨幣トノ間ニ日々相場ノ變動アルハ當然至極ノ事ナルガ如クニ之ヲ考フルホド其ノ事情ニ慣レ、且ハ又貨幣ヲ物品扱ヒシ、貨幣自體ノ賣買取引ヲ爲シ、然カモ其ノ取引ハ定期取引ニ迄發達セル狀態ノ下ニ在ル支那人ニ取リテハ、此事ハ決シテ大イナル苦痛トハナリ得ナイ。日常必要ノ買物ヲスル場合ニモ常ニ其日々々ニ於ケル各種貨幣ノ相場ヲ聞キテ其間ニ於ケル採算ニ慣レタル支那人ハ、今本位金貨ト銀貨トノ間ニ比價ノ變動アレバトテ其ガ爲メニ新制度ヲ不便トスルトハ考ヘラレス。

或種ノ銀貨ヲ以テ法貨ト爲セドモ其ガ本位貨ニ對シテ有スル比價ヲ定メザル新制度ノ下ニ於テハ、本位貨幣ハ金貨デアツテ然カモ其ハ主トシテ專ラ外國貿易ノ決濟ニ用ヒラレ、銀貨ハ又主トシテ專ラ國內ノ取引ニ用ヒラルモノナレバ、金銀比價ノ變動ガ取引ニ伴ヒテ之ヲ妨グルヲ厭フ外國商人ハ、最早其弊ニ苦ムコトナキヲ得、支那ヨリ貨物ヲ買フ場合ニモ、支那ニ貨物ヲ賣ル場合ニモ其ノ價格ハ總テ金建トシテ本位貨ニ依リテ其ノ賣買取引ヲ爲スヲ得、支那ノ輸出入貿易ハ此ノ

新制度ノ採用セラルルニ至ルニ依リテ大イナル利便ヲ得、貿易ハ健實トナリ外國人ノ取引ハ頗ル活潑ニ行ハルルヲ得ルコトトナル。同時ニ又外國ヨリスル借款モ金ニ依リテ行ハルルニ何等ノ不便ナキコトトナリ、其ノ手取及利廻ニ於テ從來ノ如ク支那政府其他ノ借款者ガ不慮ノ利得又ハ損失ヲ被ルコトナキヲ得ルニ至リ、此點ニ於テモ金本位制ノ齎ス利便ハ、新金爲替本位制ニ依リテ之ヲ占ムルコトガ出來ル。而シテ又他方ニ在リテハ國內ニ於テ取引ヲ爲ス支那人ハ銀貨使用ノ慣習ヲ廢スルコトナクシテ能ク整頓セル新制度ニ入ルコトヲ得、然カモ亦金銀比價ノ變動ヨリ來ル損失ヲ避クルニハ多クノ困難ヲ感ゼザル彼等ハ外國人ヨリ貨物ヲ買フニモ又外國人ニ之ヲ賣ルニモ常ニ自ラ金銀比價ノ變動ヨリ來ル損得ノ機會ヲ負擔シテ毫モ之ヲ意トセズ、却ツテ此事アルガ爲メニ商取引ヲ興味多シトスルノ事情モ依然トシテ存續サルルヲ得ルコトトナル。何レニシテモ金爲替本位制ヲ布キテ而カモ金銀貨ノ比價ヲ定メザルハ制度トシテハ不完全ノ譏ヲ免レヌケレドモ、其レガ爲メニ實行上大イナル不便ノ生ジ來ル可シトハ考ヘラレヌノデアル。

(五)

事情右ノ如クナルガ故ニ吾人ハ現今ノ狀態ノ下ニ於テ支那ノ採用ス可キ新幣制ハ彼ノ金爲替本位制ナルモノヲ以テ最モ適當ナルモノト爲スト同時ニ、其制ヲ布クニ就ケテハ銀相場ガ今ノ如キ異常ノ狀況ヲ呈スル間ハ暫ク本位貨ニ對スル銀貨ノ比價ヲ定ム可キニアラズ、又之ヲ定メザルコトガ決シテ多クノ實際上ノ不便ヲ齎スモノニアラズト信ズルノデアル。而シテ此ノ新貨幣制度ヲ以テ支那ニ適當ナル制度ナリト爲ス以上ハ之ガ實行ハ一日モ早キヲ可トシ、其ノ實行ノ爲メニハ

今日ハ最モ都合ヨキ時期タルコト疑ナキ所デアル。

元來金爲替本位制ナルモノハ金ヲ以テ本位ヲ定ムレドモ多クノ金貨ヲ鑄造シテ廣ク之ヲ國內ニ流通セシムル制度デハナク、ソガ價值測定ノ標準タル以上ニ實際ノ交易仲介ノ任ニ當ルハ唯ダ主トシテ外國トノ輸出入決済ニ於テデアル。サレバ今正貨ヲ準備シテ之ニ對シ金券ヲ發行スルトモ其ノ金券ガ法貨トシテ租税ノ支拂其他公ノ納付ニ於テ無制限ニ額面價ヲ以テ流通ス可キハ勿論、個人間ノ債務支拂ノ如キモ之ヲ以テ完全ニ辨濟サルルヲ得ルコト、普通ノ本位貨幣ヤ其ノ兌換券ト異ル所ハナイガ、其ノ兌換請求ニ對シテハ金貨ヲ以テ之ヲ兌換スルノ必要ナク、兌換ハ外國金爲替ヲ以テ之ヲ行ヒテ事足ルモノデアル。固ヨリ發行者ニ於テ正貨兌換ヲ爲ストモ差支ハナイケレドモ之ヲ爲サザル可ラザル義務ハナク、兌換請求ノ必要ハ必竟外國支拂ノ爲メニシテ又貿易取引ヲ金銀トナシ金爲替ヲ賣買スルニ支障ナカラシムルガ此ノ制度ノ本旨ナレバ、兌換ハ之ヲ金爲替ニ依リテ行フヲ原則トス可キモノデアル。之レ此ノ制度ニ金爲替本位ノ名アル所以デアル。

サレバ此ノ制度ノ下ニ於テハ本位貨タル正貨ヲ鑄造スルノ必要ハナク、國民ヲシテ金貨流通ニ慣レシムルガ爲メニ發行者ニ於テ之ヲ鑄造スルハ妨ナケレドモ兌換ニ應ゼムガ爲メニ之ヲ鑄造セザル可ラザルノ必要ハナイ。本位貨ノ制ハアリ乍ラ其ノ實物硬貨ナキハ妙ナラズト考フル人モアルヤウナレドモ其ハ毫モ差支ナキ所デアル。現ニ我國ナドニ於テモ圓ヲ以テ本位單價ト爲スニ拘ラズ之ニ當ル本位硬貨ハ存在セナイノデアル。

從テ此ノ制度ノ下ニ於テハ正貨準備ハ先ヅ外國貿易上ノ決済ヲ爲ス爲メニ要スル爲替資金トシ

テ必要ナルダケノモノヲ貯フレバ足りレリトシ、廣ク國內ニ金貨ヲ以テ兌換スル兌換券ヲ發行スル場合ニ於ケルガ如ク多額ノ準備ヲ置ク必要ハナイノデアル。而シテ又此ノ準備タルヤ之ヲ海外ニ置クモ毫モ差支ナク、所謂在外正貨トシテ例ヘバ日本ノ如キニ預ケ置クハ却ツテ便利デコソアレ何ノ差支モナイノデアル。仍テ之ヲ考フルニ此ノ事情ハ現今支那ガ斷然金本位制ヲ取り金爲替本位制ニ依ル貨幣制度ノ改革ヲ斷行スルニハ最も都合ヨキ事情デアル。支那ガ金本位制ヲ布クニ就ケテハ之ニ要スル金準備ハ主トシテ之ヲ外國借款ニ待ツノ外ナキヤ勿論デアルガ、其ノ借款ハ支那ニ於ケル事情サヘ整ヘバ我國一國ノミデモ之ニ應ジ得ルノ力ハアル。我國モ今ヤ資金ノ有リ餘リテ却ツテ餘弊ニ苦ミツツアル有様ナレバ、此際踏込ミテ支那ニ於ケル幣制根本改革ノ爲メニ借款ニ應ズルハ謂ハバ双方ニ都合ヨキ所デアル。唯併シ乍ラ我國ト云ハズ歐米諸國ト云ハズ今ヤ一般ニ金ノ輸出禁止ヲ勵行シツツアル際ナレバ、現實ニ支那ニ正金ヲ輸送セナクレバナラストスルト其間幾多ノ障礙モ生ジ來ルデアラウガ、幸ニモ右論ズル如ク、金爲替本位制ヲ布ク分ニハ多クノ正金ヲ支那國內ニ貯ヘザル可ラザルノ必要ハナク、之ヲ在外正貨ト爲スニ何等妨ケナケレバ、其邊ハ極メテ好都合デアル。

此ノ意味ヨリシテ實ニ現下ノ時期ハ支那ガ金爲替本位制ヲ實行スルニハ最も都合ヨキ時期デアツテ、此ノ銀價ノ高クシテ金價ノ安キ時ハ正ニ乘ズ可キ好時期ト謂ハネバナラス。見ス見ス此ノ時機ヲ逸スルガ如キハ支那ニ取リテ最も惜ム可キコトト謂ハネバナラス。今躊躇シテ之ヲ斷行セザルニ於テハ其内ニハ又銀價下落ノ勢ノ表ハレ來リ、我國始メ諸國モ遊ベル資金ヲ處分シ終リテ

支那ハ現今ニ於ケルヨリモ不利ナル條件ヲ以テスルニアラザレバ、金準備ヲ調達シ難キニ至ルデアラウ。

## (六)

支那ガ此際斷然金本位ニ移リ金爲替本位制ニ依ル統一セル國家的貨幣制度ヲ樹ツルノ必要ニシテ且ツ有利ナルコトハ上述ノ通りデアルガ、扱テ之ヲ實行スルニ就ケテ其ノ機關ヲ如何ニ組織スルカト云フ問題ハ、又一段ト困難ナ問題デアル。然シ之ハヤハリ現存ノ中國銀行交通銀行ノ如キヲ基礎トシ之ヲ併合統一シテ堅實ナル組織ノモノト爲シ、然カモ其ノ管理ハ之ヲ諸外國ノ共同管理ト爲シ嚴重ナル監督ノ下ニ堪能ナル管理者ヲ選任シテ事務ヲ處理セシムルヲ絕對必要ノ條件トスルヤ、普通ニ人ノ論議スル所ノ如シ。若シ之ヲ支那人ノ手ニ一任シ之ニ對シテ借款ヲ與フル分デハ何程ノ資金ヲ注込ムトモ終ニ能ク支那ノ幣制ノ改革サルル見込ハナク、資金ハ大抵管理者ノ私腹ヲ肥スニ用ヒラル可キヤ明カデアル。而シテ其ノ諸外國共同管理ハ何モ我國ガ主トシテ其任ニ當ラナケレバナラヌト云フコトニハナラヌケレドモ、今ノ情態ノ下ニ於テ主トシテ支那ノ幣制改革借款ニ應ジ得ルモノハ我國ノ外ニナク、事實ニ於テ此ノ問題ニ就イテハ我國ガ首頭取リノ役ヲ爲シ主任者タル可キ地位ニ在ルモノナレバ、ヤハリ我國ガ其任ニ當ルヲ適當トシ又我國ニ於テモ此際踏込ミテ其ノ重任ヲ引受クルノ覺悟ガナクテハナラヌ。

次ニ國家的ニ統一サレタル整然タル貨幣制度ヲ布クニ就ケテハ中央政府ハ直接ニ全國ノ人民ヲ支配シ之ニ對シテ少クトモ法ノ適用ヲ強制スルノ力ガナクテハナラヌ。又各地方ノ行政官廳ニ對



シテハ中央政府ノ命令ハ十分ニ徹底シ有効ニ行ハルルナクシテハ叶ハヌ。即チ苟モ法貨タルモノハ全國ヲ通ジテ名實共ニ完全ナル強制通用力ヲ有シ、又各地方行政官廳ガ隨意ニ貨幣ヲ發行スルガ如キコトニ依リテ國家的制度ヲ紊亂スルヲ防ギ、之ヲ禁止シテ苟モ犯スナカラシムルダケノ實力ガ中央政府ニナクテハナラヌ。然ルニ現今支那ノ實狀ハ正ニ此點ニ於テ大イナル缺點アリ中央政府ノ權力弱クシテ各省督軍ニ對スル制令行ハレズ、督軍等ハ貨幣ニ關シテモ自己及ビ自己ノ治ムル省ニ都合ヨキ事ヲノミ行ヒ、或ハ紙幣ヲ濫發シ或ハ擅ニ兌換ヲ停止スル等、何事モ多ク國家全般ノ利害ニ關心スルナクシテ銘々勝手ノ事ヲ行ヒツツアルノ有様デアル。而シテ今後支那ノ政治的統一ガ如何ナル程度ニ迄行ハレ得ルカハ豫言シ難イケレドモ、近キ將來ニ於テ此ノ狀態ノ大ニ革マリ完全ナル中央集權の國家組織ガ出來上ラウトハ信ゼラレヌノデアル。サレバ今中央ニ於テ整然タル貨幣制度ノ制定セラレ有効ナル機關ノ設ケラルルトモ、其レニ依リ一朝一夕ニシテ實際上ニ完全ナル國家的幣制カ成立チ得ヤウトハ考ヘラレヌ。制度組織ノ整ウト同時ニ實際上ニモ圓滑ナル運用ノ行ハルル幣制ヲ實現セシメヤウトスルニハ、先ヅ中央政府ノ權力ヲ擴充シ政治的ニ支那ガ堅實ナル國家トナルヲ助ケナケレバナラヌ。何レニシテモ貨幣制度ハ法ノ力ノ伴フヲ必要トスルモノデアルカラ、其ノ法ノ實力ヲ十分ニスルコトハ幣制ヲ整フル上ニハ是非トモ必要デアル。然シ乍ラ支那ノ實狀ハ今俄カニ中央政府ニ斯カル實力ヲ備フルヲ得ルニ至ラシメズ、各督軍ガ中央政府ニ對スル關係ハ暫クハ依然トシテ多ク舊態ヲ政メズ、各省銘々己レニ都合ヨキ紙幣ノ發行ヲ爲ス現狀ハ俄カニ變革シ難イモノト思ハナクテハナラヌ。

サレバ今新幣制ノ採用セラルルモノトシテモ之ヲ以テ全國ヲ統一スルハ一朝一夕ノコトニアラズ、暫クハ不完全ナル儘ニ之ヲ行ヒテ、漸次新制度ノ長所ニ依リ競争ノ舊來ノ紊亂セル狀態ニ喰入り實力ヲ以テ漸次ニ之ヲ統一スルノ外ハナイ。而シテ新幣制ノ下ニ於テハ外國ニ對スル支拂ヤ受取ハ總テ金券ニ依ル金爲替賣買ヲ以テ完全ニ又便利ニ行ハレ得ルモノナレバ、其ノ金券ガ諸所ノ開港場ニ於テ盛ニ流通スルニ至ル可キハ疑ナキ所デ、タダ諸外國ガ一致共同ノ態度ヲ以テ之ニ臨ミ、支那ト取引アル我が國人及ビ諸外國人が此ノ金券及ビ金爲替券ヲ選ビテ之ヲ用ヒ、貿易ハ總テ金建トシテノミ之ヲ行フコトトスルニ於テハ、金券ノ流通ガ外國ト取引アル支那人ノ間ニモ容易ニ行ハルルニ至ル可キハ明カデアル。從テ殘ル問題ハ新制度ノ下ニ法貨トシテ認メラル可キ銀貨ニ關シテデアツテ、之ガ全國ニ普及シ支那人相互間ノ取引ニ於テ支障ナク流通シ得可キヤ否ヤハ之ヲ新制度ノ實質ト時ノ力トニ待タナケレバナラス。

仍テ吾人ハ進ムデ少シク新制度ノ下ニ於テ定メラル可キ單位價格ト法貨タル可キ銀貨トニ關シテ其ノ分量等ヲ如何ニス可キカヲ考ヘテ見タイト思フ。現今支那ノ經濟發達ノ程度ニ於テハ單位價格タル可キ金分量ハ日本ノ一圓、北米合衆國ノ五十仙、英吉利ノ二志、露西亞ノ一留、佛蘭西ノ二法半、獨逸ノ二馬克程度ノモノタルヲ適當トス可シト爲スベクす氏ノ提案ハ妥當デアル。此ノ程度ニ於テ右等ノ中ノ何レカノ一ヲ選ムデ之ヲ標準價格トシテ採用スルカ然ラザレバ此等ト相似タル程度ノモノデ然カモ右ノ内何レニモ屬セザル新シキ標準ヲ制定スルカガ最も實際ニ適合セル策デアラウ。而シテ從來諸國ニ於テハ他ノ國ノ有スル單位分量ト同一分量ト爲スハ獨立國タ

ル體面上面白カラズ又同純分同分量ナルガ爲メニ外國ノ貨幣ガ國內ニ流通スルモ面白カラズトシテ、多少ヅツ他國ト異レル單位分量ヲ定メタレドモ、今ノ時勢ハソナ事ヲ云フ可キ時勢デハナイ。現ニ拉典同盟ノ例モアルコトナレバ、此際支那ニ於テ單位價格ヲ定ムルニハ輸出入トモ最モ貿易取引額ノ多額ニシテ又將來大イニ經濟ノ共通ヲ計リ特ニ資本ノ共通ヲ計ルノ必要アル日本ト同一單位ヲ定メ、金十二ぐれーんヲ以テ標準ト爲ス可キデアル。之レ支那ニ取リテ最モ得策トスルヤ公平ニ之ヲ考ヘテ疑ナキ所デアル。若シ支那ノ獨立國トシテノ體面ヲ保ツ必要アリトスレバ日本ニ於テ之ヲ呼ムデ『圓』ト稱スルニ對シテ『元』ト稱スルモ可ナリデアラウ。併シ支那ニハ現今既ニ圓銀モ行ハレツツアル次第ナレバ之ヲ呼ムデ圓ト爲ストモ何カアラン。何レニシテモ今ノ時勢ハ斯カル末節ニ拘泥ス可キ時期デハナイ。日支經濟共通ト云フ兩國ニ取リテ共ニ必要ナル大利益ヲ思ハナクテハナラヌノデアアル。

而シテ此ノ本位貨タル金貨ハ金爲替本位制ニ於テハ之ヲ廣ク國內ノ日常取引ニ流通セシムル目的ノモノデハナイノデアルカラ、價格ノ單位タル金分量ヲ有スル金貨ヲ鑄造スルノ必要ハナク又其五倍十倍二十倍等ノ倍數ニ當ル金貨ヲモ多ク鑄造スルノ必要ハナイ。又兌換券モ國內ニ於テ金兌換ヲ行フモノニアラザレバ之ヲ發行スルヲ要セズ、タダ先ニ論ジタルガ如ク之ニ相當スル金爲替ト引替ラル可キ金券ヲ發行スレバ足レリトスル。之レモ亦一種ノ兌換券ナリトスレバ即チ金兌換ナラズシテ金爲替兌換ノ兌換券ヲ發行ス可キデアル。

次ニ右ノ本位貨以外ニ於テ認メラル可キ法貨タル銀貨ハ如何ト云フニ、之ハ現今モ既ニ最モ廣

ク行ハレ全國之ナラバ 通用セザルナキ 所謂大洋銀ヲ以テ之ニ充ツルヲ適當トスル。彼ノテゝる銀ノ如キ現今開港場ナドニ於テハ主トシテ行ハレテ居ルヤウデアルガ稍大ニ過ギ、内地取引ニハヤハリ彼ノ元銀(又ハ圓銀)ガ最モ廣ク行ハレ、大アモ適當ニシテ所詮支那ノ貨幣中最モ流通性ニ富ミタルモノナレバ、其ノ純分及分量ヲ採用シ、然カモ之ハ本位金貨ト異リ盛ニ國內ニ流通セシム可キモノナレバ盛ニ之ヲ鑄造シテ以テ他ノ小洋銀ヤ不兌紙幣ナドト競爭ノ地位ニ置キ其ノ貨幣トシテノ實力ニ依リテ漸次他ヲ驅逐シテ之ニ依ツテ天下ヲ統一スルヲ期ス可キデアル。此ノ場合ぐれつしやむノ法則ノ行ハルルナクシテ他ノ惡貨幣ガ漸次驅逐サルルニ至ル可キコト支那ノ實狀ニ於テハ洵ニ本誌上(第七卷第二、三號)ニ於テ戶田博士ノ論ゼラルル通りデアル。而シテ此ノ銀貨タルヤ其ノ性質ハ法貨トシテ強制通用力ヲ有スルモノデアルガ其ガ本位金貨ニ對シテ如何ナル價格割合ヲ有ス可キカニ就キテハ前ニ之ヲ明カニセシガ如ク、暫ク銀價ノ安定シ正常的狀態ニ復歸スル迄ハ法律ハ之ヲ一定セズ、時々ニ於ケル市場ノ相場ニ依リテ流通ス可キモノト爲シ、銀價ガ正常狀態ニ復シタル曉ニ於テ法律ヲ以テ之ヲ一定スルコトト爲スヲ可トスル。從テ金銀比價ノ法定サレザル間ハ此ノ銀貨ハ法貨トシテ形式的ニハ多少不完全ノ點ヲ有スルケレドモ、然シ支那國內ノ取引ニ於テハ銀建取引ノ行ハレ唯ダ外國品ヲ購入シ又ハ外國ニ貨物ヲ賣ル或種ノ商人ノミガ金銀比價ノ變動ニ對シテ之ニ處ス可キ道ヲ講ズレバ可イノデアルカラ、之ガ爲メニ一般的ニ支那國內ノ取引ガ甚シキ苦痛ヲ被ル恐ハナイ。現ニ當今ニ於テモ輸入ハ多ク金建ニ依リテ行ハレ金價ニテ買ヒタル外國品ノ價格ヲ銀價ニ直ホスノ任務ハ支那商人ニシテ輸入品ノ取扱ヲ爲ス間屋

連ガ之ヲ引受ケテヤツテ居ル。然カモ彼等ハ多ク之ヲ苦痛トセス其ノ間ニ生ジ來ル可キ損失ノ危險ヲ掩フ手段ハ功妙ニ之ヲ講ジツツアルノデアル。外國商人ハ此ヲ大イナル苦痛トスルケレドモ支那商人ガ餘リ之ヲ苦痛トセザルハ既ニ述ベタ通りデアル。然カモ亦此ノ金銀貨ノ比價ヲ法定セズト云フハ永久的ノコトデハナク、暫ク銀相場ノ安定スル迄ノ過渡方策タルニ過ギスノデアルカラ、此事ヨリ生ジ來ル弊害乃至不便ハ決シテ絶大ナルモノトハ考ヘラレス。

次ニ又此ノ銀貨ニ對シテハ銀及ビ銅ヲ以テ十進法ニ依ル補助貨ヲ造ル必要アルヤ言フ待タザル所デアツテ、之等ハ補助貨タルニ過ギザレバ實價ハ額面價ニ對シテ大分低キモノト爲シ置クノ必要アリトセラルル。是ハ實際之ヲ造リテ一般ニ支障ナク流通スレバ至極結構ナ事デ、將來ハ是非トモ左ウナラナケレバナラヌガ、現今及ビ近キ將來ノ問題トシテ斯カル補助貨ヲ造ルトモ其ガ果シテ能ク額面價ヲ以テ流通シ得ルカハ大イナル疑問ナリト吾人ハ信ズル。十分ナル實權力アル中央政府ノ出來上リ、國家ノ法律ガ遺憾ナク遵奉サルル狀態ノ出來スレバ別デアルガ、現今ノ如キ實狀ノ下ニ於テハ此種ノ補助貨ノ造ラルトモ、ソハ又一ノ新タナル種類ノ貨幣ヲ造リ、サナキダニ貨幣種類ノ多キガ上ニ又更ニ一ヲ加フルコトナルニ過ギズシテ、其ノ通用ハヤハリ現今ノ諸地方ノ小洋銀ヤ銅錢ノ如ク其日其日ノ相場ニヨリテ圓銀ニ對シテ又小銀錢ニ對シテ打歩ヲ有ツテ行ハルルニ過ギザルコトナルデアラウ。即チ補助貨トシテノ効用ハ恐ラク實際ニハ表ハレラヌデアラウト思ハルル。サレバ吾人ハ補助貨トシテノ小銀貨ヲ造ル銀アラバ其レヲ以テ圓銀（即チ新制度ノ認ムル銀貨）ヲ造リ其ノ供給ヲ十分ニシ以テ現時ノ供給過少ヲ緩和スルヲ得策ト信

セザルヲ得ヌ。而シテ銅貨ハ支那ニアリテハ日常生活上ニハ最モ多ク用ヒラルモノナレバ、之ハ盛ニ鑄造シテ供給スルガ好イガ、其ノ價格ハヤハリ今暫クノ間ハ法律ニ之ヲ一定セズ自然ノ市場相場ニ委スノ外ハアルマイ。

斯クテ新貨幣制度ハ完全ナル貨幣制度トシテハ幾多ノ缺點アリ、先ヅ第一ニハ本位貨ハアレドモ其ノ實際流通ハ之ヲ見ルヲ得ズ又其ノ兌換モ行ハレズ、唯纔カニ金爲替ト引換ラル可キ金券ノ發行サルルノミタルノ缺點アリ。次ニハ本位金貨ニ對シテ又別ニ銀貨アリテ然カモソガ本位金貨ニ對スル比價ハ暫クノ間ハ定メラレザルノ缺點アリ。次ニハ又法ノ定ムル補助貨ナルモノナク、銅貨ハアレドモソガ銀ニ對スル比價ノ一定セラレザル不完全ノ有様ヲ呈スルコトナルノデアルガ、之ハ支那現今ノ事情ノ下ニ於テハ洵ニ己ムヲ得ヌ次第デアル。此ノ缺點アルヲ顧ハズ制度トシテノ完全ヨリモ實際上ノ利便ニ重キヲ置キテ之ヲ斷行スレバ、此ノ制度ハ實際ニ行ハレ然カモ國內外ニ取リテ便利デアルガ、若シ初メヨリ制度トシテノ完全ヲ期シ歐米先進國ヤ我國ナドニ之ヲ見ルガ如キ整ヘル制度ヲ直チニ行ハントスルニ於テハ、恐ラク支那ノ幣制改革ハ如何ホド之ヲ講究スルトモ終ニ實行ニ入ルヲ得ル時期ハ來ラヌデアラウ。先ヅ現今ノ乘ズ可キ時期ヲ利用シテ金本位ノ基礎ヲ据エ、此際之ニ要スル金準備ヲ蓄積スルト同時ニ差當ツテノ大不便タル貿易決済上ノ問題ヲ解決シ、凡ベテ之ヲ金建トシテ之ニ要スル金爲替ノ實質ヲ金券ニ依リテ行ハシメ、國內ニ於テハ然カモ強イテ金貨流通ヲ計ラズ依然トシテ銀貨使用ノ長キ慣習ヲ認メ、且又金銀比價ヲ俄カニ法定セズシテ暫ク銀價ノ安定シ又國民ガ金建取引ニ慣レ新制度ニ慣ルルノ時期ヲ待チテ

比價ヲ法定シテ、以テ國內外共ニ金本位ノ取引ニ入ラシムルコト爲スハ、洵ニ當今ニ處ス可キ賢明ナル方策デアル。今ノ時期ガ金本位制ヲ建ツルニ絶好ノ時期ナレバトテ、今直チニ理想的ニ純然タル金本位制金貨制ヲ取り、國內ノ取引ニ至ル迄總ベテ之ヲ金取引ニ改メシメ、銀貨ハタダ之ヲ補助貨トシテ認ムルノミト爲シ、補助貨ハ又凡ベテ本位貨ニ對シテ十進的ニ造ラレ又然カク使用サル可キモノト爲スコシト主張スルガ如キハ、議論トシテハ洵ニ整ヘル議論ニシテ其ノ制度ハ制度トシテハ完全ナル制度ナレドモ、ソハ到底能ク今日ニ實行サル得可キモノデナイ。例ヘバ今我國ガ二三億ノ金ヲ貸シテ支那ニ純然タル金本位制ヲ布キ、假リニ金十二ぐれーんヲ以テ單位價格ト爲シ、盛ニ金貨ヲ鑄造シ又ハ兌換券ヲ發行シテ完全ニ兌換請求ニ應ズルノ制度ヲ建ツルトセヨ。爲メニ支那ノ物價ハ金銀ノ比價割合ヨリシテ一躍シテ現今ノ十八九割ニ騰貴シテ支那ノ經濟界ニ大イナル混亂ヲ齎ス可ク、サレバトテ單位ヲ十二ぐれーん以上ニ定ムルニ於テハ後日銀價下落ノ際支那ノ單位價格ハ高キニ過ギテ幾多ノ不便ノ生ジ來ルヲ免レヌデアラウ。加之今後銀價下落ノ勢ノ大イニ顯著ニ表ハレ來ルニ至レバ、銀ヲ以テ兌換券ノ買集メラレ兌換請求ノ殺到シテ二億ヤ三億ノ準備ハ忽チニシテ枯渇シ、兌換ヲ停止スルニアラザレバ新制度ハ維持ス可ラザルニ至リ、新制度ハ忽チニ信用ヲ失ヒテ幣制ハ再ビ紊亂セザルヲ得ヌデアラウ。サレバトテ此ノ恐ナカラシムルガ爲メニ此際數億ノ金準備ヲ調ヘテ何程兌換請求ノ表ハレ來ルトモ之ニ應ジテ綽々餘裕アルダケ巨額ノ金塊ヲ獲得シ然カモ之ヲ支那本國ニ輸致セントスルモ、其道ハ絶對ニアリ得ナイノデアル。

要スルニ支那ノ幣制改革ノ事業ヲ以テ我國ガ督テ之ヲ行ヒシ場合ノ如ク容易ナルモノト考ヘ、我國ニ實行サレタレバトテ、ソガ同様ニ支那ニモ行ハレ得可シナドト考フルアラバ、ソハ飛ンデモナキ誤解デアル。從テ今我國ノ有スルガ如キ整ヘル金本位制ヲ直チニ支那ニモ採用シ得可シト考フルアラバ、ソハ事情ヲ解セザルノ甚シキモノト謂ハネバナラス。吾人ハ此際實行シ得可キ改革案トシテハ茲ニ吾人ノ論ズルガ如キ變態ナル金篇替本位制ノ外ニアラズト信ズルモノデアツテ、我が駐支財務官小林丑三郎博士ノ如キモ大抵之ニ似タル考ヲ懷イテ居ラルルヤウデアル。幸ニ博士其他ノ盡力ニ依リ各國協同ノ援助ノ下ニ早ク之ガ實行ヲ見ルニ至ラムコトヲ、吾人ハ衷心支那及ビ支那ト取引アル諸外國ノ共同利益ノ爲メニ希望セザルヲ得ナイノデアル。(終)